

事業所名

児童発達支援センター わかくさ
さくらんぼルーム

支援プログラム

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念	もっとも困難な立場に立たされている方に眼差しを向け、寄り添うことを基本とします 利用児への支援と共に、子育て支援も行い、自分らしく人生を生きるたくましさを育てます 周りの仲間や大人に受け入れられていることを実感し、周りを信頼し、その信頼を自分の力にしていきます（セルフエスティーム） 周りの仲間と共に生き、共に遊び、共に学びあう感性を育てます（エンパワメント）		
支援方針	ここが自分の居場所だと感じられるよう、しっかり受け止めていきます いろいろな経験を通して、友だちと関わることの楽しさを知っていきます 活動の中で自分の好きなことを見つけて、楽しんでいきます 生活の流れを繰り返し、経験を積み重ねることで、身の回りのことを自分でやってみようとする力をつけていきます		
営業時間	9時0分から18時0分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方からの伝達を受け、利用児童の健康状態を把握し、保護者の方へ活動後の申し送りをしっかりしていきます 食事、排泄など、基本的な生活リズムを身につけられるよう支援します 年間を通して、様々な食材を見る、触れる、栽培活動で育てた食材でのクッキングを通して、食への興味、関心を持てるよう関わります 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 公園での身体を使った遊び、室内でのマットや、鉄棒を使用した運動遊び、指先を使った遊び等、様々な遊びを取り入れます 片栗粉粘度、寒天遊び等、様々な感触遊びを楽しむことで、五感を育てます 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 一日のスケジュール、当番活動等、絵カードやイラストで、子どもたちが分かりやすいよう工夫します タイムタイマーを使用し、遊びの中でやり取りで見通しを立てられるようにしていきます さまざまな遊びの中で、数量、形、重さ、色の違い等を知っていきます 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 指さしや身振り等、子どもたちの表現をしっかり受け止め、職員が言葉にすることで、言葉の獲得を促していきます 周りの友だちとのコミュニケーションを通して、相手の気持ちを知ったり、自分の気持ちを伝えられるよう支援していきます 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> まずは職員との信頼関係を作り、自分の居場所をしっかりとつくります 周りの友だちを意識し関心を持てるよう関わります 地域のお店へ買い物いき、お店の方とやり取りをすることで、社会性を学びます 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談に対する適切な助言をしていきます 保護者会を開催し、横の繋がりを持てるような機会を設けます 保育参加、茶話会で、お子さまの様子を見ていただき、茶話会で普段の様子をお伝えしています 親子参加行事を実施します 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ご家族、相談支援等、関わる事業所等で連携を図り、必要に応じて同行する等、移行の準備を一緒に行います
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ご家族や医療機関等と連携を図り、情報共有をし支援の方向性を確認します 地域の方と日頃より交流し、地域の一員であることを知っていきます 自立支援協議会（こども部会）に参加し、地域の他事業所との情報交換や交流の場を設けます 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 法人内研修、外部講師による研修の実施、外部研修への参加 他園との交流実施 自立支援協議会(こども部会)、大阪市障がい児者施設連絡協議会への参加
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 保育参加、茶話会 ・誕生会 ・避難訓練（月一回） ・遠足（年2回） ・プール遊び ・七夕 ・内科健診 ・他事業所や園との交流 ・わかさ祭り ・ハロウィン ・勤労感謝の日のプレゼント ・わかさ展（作品展） ・クリスマス会 ・節分 ・発表会 ・親子遠足 ・買い物活動 ・食育活動（月1回程度） ・保護者会 		